

高校生と姫路市議会との座談会

12月23日（火）に姫路市議会会議室にて行われました、「姫路市議会と高校生との座談会」に2年生4名が出席しました。本校生徒4名、姫路高等学校から生徒6名、市議会から建設委員会委員9名が、公共交通空白地を生み出さない取組「誰もが安全で快適に出かけられるようにするには」というテーマについて意見交換を行いました。本校生徒は、学生、市民、シニア世代の3つの視点から姫路市の公共交通の現状や課題、解決策の提案について、事前に用意したスライドを用いてプレゼンテーションを行いました。その後議場見学も行われ、記念写真撮影をしました。大変貴重な経験ができました。

【生徒感想（抜粋）】

●姫路市には公共交通以外にも少子高齢化や宿泊者数の低迷など多くの課題があります。高校生にできることは限られていますが、もうすぐ選挙権を得る立場として、これらの課題に対する自分の意見を持ち、真剣に向き合っていきたいと思いました。

●僕はプレゼンの中で、道路の舗装に関することを挙げました。すると、市議会の方に姫路市の公式ラインの存在を教えてくださいました。そのラインに、整備してほしい場所の写真を撮って通報すると、三日ほどで舗装されるそうです。利用する人が一番気付きやすいので、ぜひ利用してくださいともおっしゃっていました。

●発表自体は緊張の為か一瞬に感じられた。議会議員の方々からは思ってもいない質問や感想を頂けた。また発表した事だけにとどまらず、意見交換の中で政治に関するイメージだけであった事が逆転したり上書きされたりと面白かった。

